

病棟・外来から始める

リンパ浮腫予防指導

増島麻里子＝編著

定価2835円(本体2700円＋税5%)

医学書院 ☎03-3817-5657



リンパ浮腫をもつ患者さんと出会うとき、その悩みは大きく深いことを思い知らされます。腫れている腕や足が少しでもとどおりにならないかという悩みだけでなく、リンパ浮腫をもって生活し通院し、再発の恐怖とも闘っています。その末に再発した方には、全人的な痛みが新たな苦しみとなって重くのしかかってきます。

診療報酬において、2008年にリンパ浮腫指導管理料が新設され、2010年には外来においても適応されるよう改定されました。現在、がん治療は包括的医療として位置づけられ、手術、さまざまな治療、再発、終末期に至るまで、医療者はシームレスに患者さんの苦痛に対

して積極的に関わるのが求められていると思います。しかし、現実はどうなのでしょう。

リンパ浮腫をもつがん患者さんやそのご家族の苦悩と出会うとき、どこかで医療者が関わっていたら、こんなに悪くなっていなかったのではと考えてしまうことが多くあります。早期から適切に対応し、重症化を防ぐことができる疾患の1つであるリンパ浮腫に対し、専門のリンパドレナージ・セラピストの方々が多く関わるのが望まれますが、実際には限られた少数の医療機関での対応が現状です。一般の外来を含めたすべての医療者やご自宅にうかがう訪問看護師が、また、患者さん自身が正しい知識をもち、リンパ浮腫に気づいて早期から関わることで重症化を防げるのではないのでしょうか。

重症化を防ぐ術をわかりやすく

本書は、リンパ浮腫に対して病棟や外来に在るすべての医療者の関わりがとて大切とし、医療者と患者さんがともに活用することや院内教育などに活用できるようにまとめられています。非常に具体的でわかりやすく目で見えて確認しやすくなっています。

巻末資料としてある「セルフケアブッ

ク」は、さまざまな年齢の患者さんやご家族を考慮し、名称や部位などにふりかなも添えられており、その患者さんにとってどうかを考えられる内容となっています。初期徴候を見逃さず、早期に対応するための内容や、日常生活を工夫する点、その実態がまとめられています。

スキンケアについても1人ひとりの状況を確認することにつながり、保湿剤の選定や塗る量も具体的に記載されていますので、初めての方にも適切なケアが届くことでしょう。リンパ浮腫の悪化を予防するうえでとくに重要なセルフケアのほか、リンパ浮腫の知識を得るための根拠や全体をアセスメントしていくための手立てが詳しく書かれていますので、とても学びやすいと思います。

在宅緩和ケアを実践する私が、硬く腫れあがった腕や足を看させていただいてくれる方々のなかには、がん専門の治療病院に外来通院または入院していてもリンパ浮腫のケアについてはアドバイスや指導自体がなかったケースも多くあります。医療者が正しい知識をもち、早期に予防することが大切だと思います。

病棟や外来、訪問看護などすべての医療者や患者さん、ご家族にもお勧めできる一冊だと思います。